

2015年9月7日ニュルンベルク市開催 WUSV 総会議事録

開始時刻: 9時

TOP 1) 規定

1.1. 会長挨拶

WUSV 会長 Professor Meßler 氏が 9時に会議を開始した。Meßler 氏は、2015年5月29日に Lahnstein 市で開催されたドイツシェパード犬協会の連邦総会で新会長に選出され、WUSV 定款に従って WUSV 会長に就任したことを述べた。

1.2. 会議開始

会議は規定通り 9時10分に開始した。

1.3. 招待時の期間遵守

招待状及び議事日程の送付及び関連資料は、2015年7月24日に事務総局から会員協会宛てへ送付された。定款に規定される期間は第16条に従い遵守された。

1.4. 出席する WUSV 協会及び決議能力の確認

出席者:

WUSV 会長

Professor Dr. Heinrich Meßler 1票

WUSV 理事

Dr. Wolfgang Tauber、オーストリア 1票

Francis Reuther、フランス 1票

Imran Husain、パキスタン 1票

WUSV 事務総長

Clemens Lux、ドイツ

WUSV 副事務総長

Hartmut Seteck

会員協会

アルゼンチン:

Club Argentino de Criadores del Perro Ovejero Alemán
Julio Pasarelli & Luis Alberto Casasola 4票

オーストラリア:

German Shepherd Dog Council of Australia Inc.
Vince Tantaró & Robyn Knuckey 6票

ベルギー:

Royal Club du Berger Allemand de Belgique
Frédéric Clemens 2票

ブラジル:

Sociedade Brasileira Caes Pastores Alemanes José Walter Santos Ferro & Milton Malheiros Neto	2 票
ドイツ連邦共和国: ドイツシェパード犬協会 (SV) Nikolaus Waltrich	57 票
中国: ドイツシェパード犬中国協会(CSV) Jinfei Chen & Quing Li	5 票
コスタリカ: Asociacion Ovejero Aleman de Costa Rica Alberto Gamba Yamoni & Carlos Enrique Rivera Gallardo	2 票
デンマーク: Schaeferhundklubben for Danmark René Jorgensen & Lena Pichler Bjerre	5 票
エクアドル: Asociacion de Criadores de Perros Ovejeros Alemanes Roberto Caputi & Doubosky Marquez	2 票
エルサルバドル: Asociación Salvadoren del Pastor Alemán José Roberto Espinal & Jean Harvey	2 票
フィンランド: SPL-Saksanpaimenkoiraliitto ry Tuula Virtanen & Sami Bagström	5 票
フランス: Societe du Chien de Berger Allemand Francis Reuther (理事参照) & Henry Motz	4 票
イギリス: British Association for German Shepherd Dogs Doreen Gater & Wayne Lacey	3 票
German Shepherd Dog League of Great Britain Shirley Hutchinson & Wendy Stephens	2 票
グアテマラ: Asociacion Guatemalteca del Pastor Aleman(AGPA) Carlos Enrique Rivera Callardo	2 票
香港: German Shepherd Dog Club of Hong Kong Thee Ning Khong	2 票
インド: The German Shepherd Dog Club of India Sanjay Desai & Sanjit Kumar Mohanty	2 票
アイルランド	

The National German Shepherd Working Dog Association Cedric Blackburne & Gayle Boyce	2 票
イスラエル: German Shepherd Dog Club of Israel Eva Oster & Colin Frankel	2 票
イタリア: Società Amatori Schäferhunde (SAS) Luciano Musolino & Stefano Beggiano	8 票
日本: 日本ドイツシェパード犬協会(JSV) Tadashi Yamaguchi & Bettina Post-Kobayashi	2 票
Nippon Police Dog Association Junichi Kenmotsu & Kouichi Hirata	3 票
カナダ German Shepherd Schutzhund Club of Canada Raino Flügge	2 票
マレーシア: German Shepherd Dog Club of Malaysia Ricky Lye Meng Hock & Low Poke Leong	2 票
メキシコ: Club Canofilo Mexicano de Pastor Aleman Dr. Francisco Navarro Reynoso & Ricardo García	2 票
ニュージーランド: German Shepherd Dog Advisory Council Luis Donald	2 票
オランダ: VDH-Holland Peter Nefs	5 票
ノルウェー: Norsk シェパード犬クラブ HS John G. Torsvik & Helmut Wehinger	7 票
オーストリア: オーストリアシェパード犬協会(SVÖ) Josef Schallegruber	8 票
パキスタン: German Shepherd Dog Club of Pakistan Ahmed Rasul Virk & Noshair Mann	4 票
ペルー: Asociacion Peruana de Criadores de Perros Pastores Alemanes Nestor Villalba & Matilde Elguera	2 票
フィリピン: German Shepherd Dog Federation of the Philippines	

Mario Tan & Jacinto Tan	2 票
ポーランド: Klub Owzarka Niemieckiego przy ZG ZKwP Krzysztof Dobrzanski	2 票
ポルトガル: Pastor Alemão Clube de Portugal Jose ferrera	2 票
ルーマニア: Clubul National de Ciobanesc German Edmond Roman Stecyk & Liviu Sfarghiu	2 票
ロシア: ドイツシェパード犬所有者のためのロシア協会 Sergei Pushkin & Elena Bliznetsova	2 票
スイス: スイスシェパード犬クラブ (SC) René Rudin	6 票
セルビア: Asocijacija Nemacki Ovčara Srbije (ANOS) Ivan Lukic & Goran Pesic	2 票
シンガポール: German Shepherd Dog Club of Singapore Yap Seng Teck & Woo Mei Yien	2 票
スペイン: Real Club Espanol del Perro de Pastor Alemán Rodrigo González Campuzano & José Ovez Martínez	3 票
南アフリカ: German Shepherd Dog Federation of Southern Africa Frikkie van Kraayenburg	3 票
韓国: Korean Kennel Club Young Bae Lim & Kyung Ho Kim	3 票
台湾: German Shepherd Dog Association of Taiwan Kao Chuan Lung & Hung-Ming Chung	2 票
Taiwan Kennel Association (TKA) Chen-Yun Hsu & Ya-Lan Engert	3 票
トルコ: ドイツシェパード犬及びスポーツ協会 Ahmed Karatas	2 票
ウクライナ: ウクライナ・ドイツシェパード犬中央クラブ	

Elena Shchura	2 票
ハンガリー: Magyarországi Nemet Juhaszkutya Klub (MNJK) Ferenc Szegvári & Máté Mészáros	2 票
ウルグアイ: Soc. Urugayana de. Criad. D. Perros Ovejeros Alem. (SVU) Marcelo Esteban Tarantino & Jens Becker Olsen	2 票
アメリカ合衆国: German Shepherd Dog Club of America Frank fasano & Dr. Morton Goldfarb	6 票
United Schutzhund Clubs of America Stephanie Dunion	5 票
WUSV 入門協会	
エジプト: GSD Club of Egypt Ashraf Sileem	なし
アルジェリア: Societe Algerienne Du Chien de Berger Allemand Beghili Redouane & Ammar Khohja	なし
ケニア: East Africa German Shepherd Dog League Grace Wanjiru Wahome	なし
モロッコ: Club du Chien Berger Allemand (CCBA) Dr. Karim Laraki & Faycal Laraki	なし
モンゴル: GSD Association of Mongolia Munkhbayar Tumor & Munkhdul Gantulga	なし
ベトナム: ベトナムドイツシェパード犬協会 (VSV) Gustav Nguyen Huy	なし
入門もしくは再加盟手続の候補者:	
ボリビア: Club Boliviano de Criadores del Perro Ovejero Alemán Ramón Rufino	なし
書記 Helga Seidel、ドイツ	
担当者: Lothar Quoll (ドイツ)	

Erich Bösl (ドイツ)
Heinz Gerdes (ドイツ)

ゲスト:

Astrid Osten (ドイツ)
Jacky Beck (フランス)
Yamada Yukio, SVJ (日本)
Haruo Masuda, SVJ (日本)

欠席者:

ベラルーシ:	Verein der Schäferhundebesitzer in Belarus
ベルギー:	Vereniging voor Duitse Herdeshonden VVDH
ブルガリア:	Bulgarischer Verein für Deutsche Schäferhunde
チリ:	Club Chileno de Criadores Ovejeros Alemanes
エストニア:	Estnischer Verein Deutscher Schäferhunde
ギリシャ:	The Hellenic German Shepherd Dog Club
インドネシア:	Indonesian German Shepherd Club
アイルランド:	German Shepherd Dog Club of Ireland
ジャージー/チャンネル諸:	German Shepherd Schutzhund Center Jersey (入門会員)
カザフスタン:	Verein für Deutsche Schäferhunde der Republik Kasachstan
コロンビア:	Asociación Columbiana Perros Pastores Alemanes
クロアチア:	Zajednica Udruga Klub. Uzgajaca Njemackih Ovcara Hrvatske
ラトビア:	Club der Deutschen Schäferhunde Lettland
リバノン:	Societe du Chien de Berger Allemand (入門会員)
リトアニア:	Deutscher Schäferhundeverein Litauen
ルクセンブルク:	Centrale Luxembourgeoise du Sport pour Chiens d' Utilite
マケドニア:	Macedonian German Shepherd Dog Club
モルドバ:	Moldawischer Verein für Deutsche Schäferhunde (入門協会)
ニカラグア:	Asociación del Pastor Alemán Nicaragüense
パナマ:	Federación Canofila de Perros Pastores Alemanes-Panamá
パラグアイ:	Club Ovejero Alemán de Paraguay
ポルトガル:	Pastor Alemão Clube de Portugal
スウェーデン:	Svenska Schaeferhundklubben
スロバキア:	Slovenska unia chovatelov nemeckych ovciakov Suchno
スロベニア:	Kinolosko DNOS
韓国:	Korean Kennel Federation
タイ:	German Shepherd Dog Association of Thailand
トリニダード&トバゴ:	German Shepherd Breed Club of Trinidad & Tobago
チェコ共和国:	Züchterklub Deutscher Schäferhunde
ハンガリー:	Magyar Ebtenyésztők Országos Egyesülete (MEOE)
ベネズエラ:	Asoc.de Criadores del Perro Pastor Aleman d.V. (ACPPAV/ 入門協会)
キプロス:	Cyprus German Shepherd Club

投票数

- 205 票の議決権のある会員国
- 1 票の議決権のある理事 4 名
- 全 265 票のうち合計 209 票
- 以上により議決能力が与えられる

1.5. 議事日程の承認

議事日程は本形式で承認された。総会の始めに、議事日程の追加項目として TOP 15.4 に関する WUSV 理事会の決議申請が行われた（添付資料 1）。TOP3 は TOP2 の前に取扱われた。

TOP 2) WUSV 会長及び事務総長の年間報告

2.1. SV — 新理事の選出及び連邦総会の決議

会長が Lanstein における SV-BV2015 について報告し、新理事の名前を紹介した。次に、倫理、動物保護、ブリード、パフォーマンスなどのテーマを取扱う新しいプログラムを発表した。総会の参加者に対し、現在目の前に存在するあらゆる問題を対処していくために、組織内の賄賂予防に今後一層尽力し、今まで以上に効力のあるコントロールシステムを導入すべきだと述べた。最後に、BV2015 の関連決議事項をまとめて紹介した。これは WUSV ホームページ上でも近日中に掲載される。

TOP 3) 財政

3.1. 会計監査人の報告

WUSV 会計監査人 Schallegruber 氏が 2014 年度について報告した。収入は合計で 170,113.46 ユーロとなり、そのうちの大部分を占める 94,502.00 ユーロは会費からの徴収だった。34,033.60 ユーロは審査員許可料、15,630.20 ユーロは審査員セミナーのイベントから徴収した。会計年度 2014 の支出は、148,235.68 ユーロだった。20,000.00 ユーロの積立資金が発生した。

3.2. 監査報告書 2014

規定通りの審査が行われたあとに、会計監査人から可決承認された。

3.3. WUSV 理事の免責

申請は満場一致で可決され、棄権も反対投票もなかった。

3.4. 会費支払/担保金/入会費に関する現状

Clemens Lux 事務総長が、2015 年度にはほぼ全ての会費が徴収されたことを報告した。この報告を機に、Lux 氏は会員協会の支払状況について非難し、今後、協力関係の改善を求めた。しかし、支払いが困難な状況にある会員があることに対して十分理解していることも補足した。

3.5. 経済計画 2015

総会出席者に渡された経済計画 2015 は、満場一致で承認され、反対票、棄権もなかった。

TOP 4) WUSV 理事選出 2015

会長が以下に挙げる人物を表彰した。

René Rudin 氏は、海外における SV ブリード審査員としての 30 年間に渡る功労に対して表彰され、感謝と賞賛の言葉が送られた。

Jacky Beck 氏は、Haguenuau/フランス WUSV 世界選手権 2014 での活躍に対して WUSV 銅賞を獲得し、同様に感謝と賞賛の言葉がおくられた。

Clemens Lux 氏は、協会での功績に対して Max von Stephanitz 賞によって敬意が表され、Professor Meßler 氏が祝辞を述べた。

TOP 5) WUSV 会員加盟国協会内の問題に関する今後の対処方法

Professor Meßler 氏は、今後の対処方法について述べた。調停交渉については、WUSV 本部において法律家の立ちあいの下で実施され、費用支払義務が発生するものとする。理事は、この目的のために問題が発生している国を訪問しない。(TOP6 も参照)

TOP 6) WUSV 法的状況に関する会長報告

Professor Meßler 氏は、定款の構成及び対応する基盤に関する現状をまとめた。Meßler 氏は、本年 5 月の SV 連邦総会において、協会創設者側によって実質的な規定がなされたことを報告した。さらに、SV の包括的な拒否権についても示した。Professor Meßler 氏は、規定の目標及び目的に触れた。とくに第 4 条及び第 29 条第 4 項に従う規定によると、定款及び SV 規定は WUSV の定款の構成要素である、あるいは、少なくとも定款同様の効力を持つ。これは、WUSV 会員総会もしくは本会議の決議で変更出来るものではない。変更は SV の会員総会のみ義務であり、WUSV 会員登録書への登録によって法的に有効となる。現在の問題については、2013 年版の WUSV 判例規定の可決によってはじめて明らかになった。WUSV 定款に従うと、このような状況下では有効な判例規定がない可能性がある。会長は、現在の問題点は、もしかしたら誤解もしくは意思の疎通が欠けたことに原因があるかもしれないと強調した。SV の拒否権が規定通りに行使されなかった、もしくは、完全に行使されなかったことが過去にある。SV 連邦総会の派遣団は、WUSV における処理について何ら情報を得ていないことが度々あった。そのため、既存の不規則性については 2015 年の WUSV 総会と協力して処理にあたるべきであるという 2015 年 5 月の SV 連邦総会の中で得た指示について述べた。Meßler 氏は、WUSV 定款の完全な“リセット”及びそれに伴う改訂版を作成するために処理方法について述べた。

続いて、Meßler 会長は、WUSV が巻き込まれた会員加盟各国内の協会間で発生する意見の食い違い問題について詳細に報告した。ここにおいても、新しい処理方法に努め、今後は調停手続の導入が計画されることになる。日本にある 3 つの協会は、調停協議を良い方向へ進めることができ、適切な合意がなされた。

今後、既存の不規則性もしくは未解決の問題に対しては、短期間の調停手続によって処理していくことにする。この処理方法が個別の事例で解決できない場合、該当国におけるイベントの審査員許可停止など、紛争当事者に対して制裁が加えられる。

さらに、会長は、SV は今後 WUSV 内の拒否権の維持を主張すると述べた。今後、SV の連邦総会における WUSV 報告は常に議題の一つとする。違反行為については、同様に SV 側から制裁が加えられる。これは今後、必要があれば、WUSV 会議の議題の一つとする。

それに加えて、加盟各国の上位機構の設立、つまり“1 カ国 1 規定”が今後求められる。これは、歴史的経緯から WUSV 定款によって実施することはできなかった。

WUSV 審査員は、WUSV 審査員規定が事実上なければ存在しない。そのため、SV 海外審査員局を新設することが計画されている。どの範囲まで SV 海外審査員局を新たに導入できるか検討中である。これに関連して、WUSV 審査員訓練は参加セミナーとして承認されるべきである。SV 海外審査員訓練の参加については、詳細に規定する。訓練の開始は 2016 年初頭を計画している。

次のテーマとして、Professor Meßler 氏は、世界レベルの WUSV 新規定を計画していることについて述べた。これまでの中央委員会は解散した。別の言葉でいうと、委員会が法的に一度も検討したことがなかったため、解散は法律上必要なかった。中央委員会に代り、幾つかの責任範囲を持った WUSV の地域担当を設ける。この国際レベルにおける WUSV の任務を認識し及び代表

するため、この地域担当をコンチネンタル・ディレクターと呼ぶことにする。この役職は WUSV 理事会による指示に基づき、決定権限は一切持たないことをここで明確にする。

統一化されたレポートシステム及びコントローリングシステムの導入については、意思疎通の改善と情報保護のために各国が尽力するべきである。SV 連邦繁殖監視人の Lothar Quoll 氏は、ヘルスケアやブリード、パフォーマンスといった個々の基準を調整する国際計画である 12 年計画を作成した。

会長は、出席者に対して、会員協会は WUSV に対して申請が可能であることを明確にし、定款第 16 条にある会員組織の権利の民主主義的意義を強調した。申請は遅くとも各年の 5 月 31 日までに事務総局に出すこと。

6.1. WUSV 定款の“リセット”

会長は、法的段階を回避し、30 条全ての投票を行うのではなく、WUSV 総会アジェンダに関する添付資料 3 の掲載案について全体投票を行うことを出席者に呼びかけた。

会長が立てた申請についての投票結果は以下となる。
反対票 1 票、多数決で可決、棄権はなし。
会長は信頼と協力関係について感謝の意を表した。

次に、会長は、中央委員会制度の代わりとなる今後のコンチネンタル・ディレクターを紹介した。しかし、これは一時的な解決策であると説明した。

申請に関する投票結果は以下のとおり。
コンチネンタル・ディレクターヨーロッパ: Luciano Musolino & René Rudin
満場一致で採択
コンチネンタル・ディレクター北米(カナダ、USA、メキシコ): Dr. Morton Goldfarb & Dr. Francisco Navarro Reynoso
満場一致で採択
コンチネンタル・ディレクター南米: Roberto Caputi & Julio Passarelli
満場一致で採択
コンチネンタル・ディレクター北アフリカ/中東: Jacky Beck
満場一致で採択
コンチネンタル・ディレクター中央・南アフリカ: Frikkie van Kraayenburg
満場一致で採択
コンチネンタル・ディレクター北アジア: Jinfei Chen は Imran Husain を支持、日本は近
日中に独自の提案を提出する。
満場一致で採択
コンチネンタル・ディレクター北アジアを除くその他のアジア: Imran Husain
満場一致で採択
コンチネンタル・ディレクターオーストラリア: Imran Husain
満場一致で採択

ニュージーランドとオーストラリアの代表は、オセアニアに自国の代表を立てることを望んでいる。Professor Meßler 氏は、これはあくまでも次回の総会で議論される計画にすぎないと説明した。今後も最終的な配分を行い、会員協会にその旨を通達する。コンチネンタル・ディレクターの役職委託では、決定権を持って執行にあたるのが重要なのではなく、WUSV 理事会にとってその地域の担当者が求められることが重要である。個々の国々で解決されなければならない問題が数多くあるため、一時的ではあるもののこの解決策は必要と思われる。

6.2. 2015 年 5 月 31 日の Lahnstein 開催の WUSV 会長に関する SB-BV の申請 TOP では特に扱わない。

6.3. アジェンダ 2025

TOP では取り扱わない。TOP 6 に関する詳細を参照。

TOP 7) ニュルンベルク SV-BSZ 展 2015

7.1. 成犬牝: 連邦繁殖監視人 Lothar Quoll

Quoll 氏は、今年ニュルンベルクで開催された BSZ 審査結果について報告した。規模について話し、中期的に規模を縮小することを再度述べた。

7.2. 成犬牝: Erich Bösl

Bösl 氏は、今年ニュルンベルクで開催された BSZ 審査結果について報告した。

TOP 8) WUSV 会員リストからの抹消

会長は、2014 年度の全ての会費を徴収し、TOP はこの点においては説明をする必要がないことを確認した。

TOP 9) WUSV 行事の回顧

9.1. 第 27 回 WUSV 世界選手権 2014 in アグノー/フランス

Francis Reuther 氏 & Günther Diegel 氏の講演

Reuther 氏は、世界 37 か国 180 名が参加した 2014 年の世界選手権の進行について講演した。

Diegel 氏は、残念ながら総会に参加できず、講演は中止となった。

9.2. 第 5 回ユニバーサル・ジージャーコンテスト 2015 in カンポガッリアーノ/イタリア

Heinz Gerdes 氏の講演

現役の審査委員長である Gerdes 氏が、このコンテストについて講演し、14 加盟国から 49 名が参加したこの素晴らしい行事を賞賛した。また、この行事が如何に注目を浴びているか再度証明するものになったと述べた。Gerdes 氏は、主催者の Società Amatori Schäferhunde (S.A.S.) とその協会スタッフに対して、関係者の協力なしに行事の成功はなかったと改めて感謝の意を表した。

会長は、TOP10 へ移る前に、過去 12 か月の間に亡くなった Dr. Ernst Beck 氏(ドイツ)、Wilfried Scheld 氏(ドイツ)、Gennadij Severin (ウクライナ) 氏を追悼する時間を設けた。

TOP 10) 第 28 回 WUSV 世界選手権 2015 in ラハティ/フィンランド、2015 年 9 月 24 日から 27 日

Dr. Tauber 氏が、このテーマに関して報告し、Wilfried Scheld 氏に対して改めて感謝の意を表した。Tauber 氏は、専門性を持って行事の準備がされたことを賞賛し、フィンランドが開催国に選出されたことを大変喜び、彼の知る中でホスピタリティ溢れる開催国の一つであったと述べた。

審査員長:	Dr. Wolfgang Tauber (オーストリア)
印跡担当:	Peter Mayerl (オーストリア)
部門 A:	Josef Schallegruber (オーストリア)
部門 B:	Günther Diegel (ドイツ)
部門 C:	Pierre Wahlström (スウェーデン)

TOP 11) 今後開催の WUSV 世界選手権の決定日程

Dr. Tauber 氏が、今後の日程について述べ、2019 年の世界選手権はイタリア、2022 年はオーストリアで開催されることを発表した。

SV の代表 Hartmut Setecki 氏も、このテーマについて説明し、SV 連邦スポーツ担当官の Björn Bröker 氏の書簡を読み上げた。書簡の内容は、Meppen 開催の世界選手権 2016 でアジリティ・トーナメントと可能であればオビディエンス審査についてであった。Setecki 氏は、WUSV 総会に参加する派遣団に、自国でこの競技への参加を呼び掛けてほしいと述べた。Bröker 氏は、書簡の中で、計画されている行事は世界選手権を損なうものではないことを約束している。この書簡は本プロトコルの添付書類 2 で確認できる。

2016		ドイツシェパード犬協会 (SV) – メッペン/ドイツ
	審査員長:	Günther Diegel (ドイツ)
	印跡担当:	Peter Mayerl (オーストリア)
	部門 A:	Hans Graft (スイス)
	部門 B:	Haruo Masuda (日本)
	部門 C:	Toine Jonkers (オランダ)
2017	予定	VDH – オランダ
2018	予定	Schaeferhundeklubben for Danmark – デンマーク
2025	予定	R.C.B.A. – ベルギー

TOP 12) 次年度以降の WUSV ユニバーサル・ジューガーコンテストの決定日程

Dr. Tauber 氏がこのテーマについて簡潔に説明した。2017 年はオーストリア、2018 年はベルギー、そして 2019 年はイギリスに決定した。2020 年にはスペインが応募している。

2016		ドイツシェパード犬協会 (SV) パダーボーン/ドイツ
	審査員長:	Egon Gutknecht (ドイツ)
	印跡担当:	Peter Mayerl (オーストリア)
	部門 A:	Federic Clemens (B)
	部門 B:	Raino Flügge (カナダ)
	部門 C:	Hari Arcon (SL)
	展覧会:	Lothar Quoll (ドイツ)
2019	予定	GSD League of Great Britain

TOP 13) WUSV-FH 世界選手権

Dr. Tauber 氏が、このテーマについて詳細に説明した。印跡作業は使役犬の訓練にとって大きな意義があるからである。

2016		Royal Club du Berger Allemand de Belgique/ Belgique
	審査員長:	Ernst Riegl (オーストリア)
	印跡担当:	Wolfgang Rook (ドイツ)
	部門 A:	Hans-Christian Boll (ドイツ)
	部門 B:	Igor Lengvasky (スロバキア)
2017	予定	スロベニア
2018	予定	オーストリア

TOP 14) 日程の確定

Dr. Tauber 氏が出席者に対して、チームリーダー会議が今年 9 月 28 日にフィンランドで開催される世界選手権の後に開催されることを伝えた。

TOP 15) 会員問合わせとその他の申請

15.1. ボリビア

WUSV 理事会は WUSV 総会に申請に同意することを推奨した。
投票：満場一致で承認、入門協会として入会。

15.2. キルギス

WUSV 理事会は WUSV 総会に申請に同意することを推奨した。
投票：満場一致で承認、入門協会として入会。

15.3. オーストリア：SV Ö 創立 110 年周年を機に、WUSV 世界選手権 2022 の開催

WUSV 理事会は WUSV 総会に申請に同意することを推奨した。Dr. Tauber 氏がこれについて報告した。
投票：満場一致で承認、入門協会として入会。

15.4. 追加議題 (TOP 1.5.参照)

15.4.1. チェコ共和国

チェコ共和国におけるドイツシェパード犬協会は、SV、WUSV そして FCI からの書簡に対して何ら反応しない。事務総局はこういった姿勢は次回の取締役会の議題になることを協会側に通達する。

15.4.2. ブラジル

ブラジルの協会 Sociedade Brasileira Caes Pastores Alemaes は、複数に渡る会議日程を遵守しなかった。現状から、ブラジルへは審査委員を派遣しないことになる。COAPA の Roberto Caputi 会長はこの状況について説明した。派遣代表の Milton Malheiros Neto 氏と Jose Walter Santos Ferro 氏はブラジルの状況について報告した。WUSV 側の説明と描写に基本的に一致する。

2015 年に合意契約の試みが行われた。新会長の下、合意が目指され、適切な日程が決定された。ブラジルの協会は合意にいたるよう判断した。Malheiros Neto 氏は、配慮に感謝し、ブラジルの状況についてお詫びした。会長は理事会からの申請について投票させることにした。申請は反対票、棄権なしに承認された。

15.4.3. アイルランド

German Shepherd Dog Club of Ireland は、WUSV 事務総局からの書簡及び電話に答えなかった。2015 年度の会費も未納で、義務を果たしていない。この事態は 2016 年の WUSV 総会のアジェンダの議題になる。

TOP 16) その他

TOP では取り扱わなかった。

Professor Meßler 会長は、会員の協力関係に感謝し、出席者に無事帰国されることを祈り、12 時 57 分に WUSV 総会 2014 を終了した。

WUSV 会長

事務総長

書記